

令和5年3月31日

令和4年度活動報告書

特定非営利活動法人
地域学習プラットフォーム研究会

1 事業の概要

インターネット市民塾等の実践を通して積み重ねてきた成果を、「生涯学習プラットフォーム」として広く役立てるため、研究開発＝「深める」、普及啓発＝「広める」、連携促進＝「つなぐ」をキーワードに事業を進めました。

研究会の命題としている「人生を通して学び続けるプラットフォーム」について、熊本大学等と共同で開発したeプラットフォームを活用し、これからの生涯学習・社会教育のあり方を目指した研究活動を進めました。この研究では、公的機関やNPO団体等のオンライン活動の支援を通して、新たな価値観に結びつく効果を確認することができました。

また、学校や地域振興など地域の現場に積極的に出かけ、会員の課題意識を高める活動を推進しました。

2 主な事業

(1) 研究開発事業

① eプラットフォームの実践的研究

令和2年度にくまもとLRネット・熊本大学のグループと共同開発した「eプラットフォーム」をもとに、生涯学習・社会教育の新たなオンラインプラットフォームを目指した実践研究に取り組みました。

具体的には、eプラットフォーム上で運用する公的機関やNPO団体等のオンライン活動サイトの利用状況を分析し、利用者や運営者の視点で評価を行いました。

その結果、若い世代の利用や地域を超えた利用が見られ、単独での運用では得られない状況を確認することができました。

官民学の学習支援や活動組織では、会員や利用者の偏りや新たなニーズに応えるための課題を抱えていることが多く、eプラットフォームならではの課題解決の端緒を得ることができました。

② オンラインフォーラムの開催

平成3年度に引き続き、これからの生涯学習・社会教育を考えるオンラインフォーラムを期間中5回開催しました。各回にテーマに沿ったスピーカーを招き、キーノートスピーチをもとに問題意識を共有し、これからの実践課題を語り合いました。

オンラインフォーラムには、「生涯学習eプラットフォーム」（明石書店）の出版を契機に参加する教育研究者や、公民館職員、情報化実践者など幅広い分野から集まり、さまざまな視点で生涯学習・社会教育を考える場になっています。

地域や立場を超えて生涯学習・社会教育を語り合う場となり、今後の研究活動や実践のヒントをたくさん得ています。

（2）普及啓発事業

① 「eプラットフォーム」を活用したオンライン活動サイトの構築・運用支援

新たに開発した「eプラットフォーム」を活用し、公的機関やNPO団体等のオンライン活動サイトの構築と、継続的な運用支援に取り組みました。

1) 茨木市立生涯学習センターオンラインサイト「きらめきオンライン」（継続）

働き盛りや子育て中の世代を含めた幅広い市民に向け、さまざまな学習機会を提供しています。

既存施設である生涯学習センターを補完するのみならず、夜間や通勤時間帯での学習や若い世代の学習利用が確認されています。また、他の地域からの利用など単独のサイトでは見られない学習利用が確認されています。

2) ネクストステージを支援する「NPO法人キャリアネットワーク北陸」（継続）

人生100年時代に向けた定年後のセカンドステージに新たな活動を始めるための学びやマッチングを活動目標としています。

令和2年度にサイトを開設して以来、新型コロナの感染状況に応じて対面とオンラインのハイブリットを活用した柔軟な活動に役立てています。

今後さらにサイトの機能を充実させるとともに、セルフプランニング講座などオンラインならではの利用効果を模索しています。

3) 文化芸術活動団体「富山県芸術文化協会」（継続）

オンライン活動への対応が難しいとされる文化芸術活動についても、新たな時代、新たな参加者を迎える取り組みを始めています。

令和2年度のサイト開設後に始まった「オンライン俳句会」は、コロナ禍での集合・対面の制約を補完するのみならず、地域外の参加や若い世代の参加も見られ、オンライン利用についての識の変化ももたらしています。

4) オンラインによる企業人材育成に取り組む「ジェック経営コンサルタント」（継続）

働き方が変わり、DXによる革新が進む中、新入社員や若手社員の働く力を身につける教育を推進しています。

② 高齢者情報バリアフリー支援事業

モデル地域（富山市）での実践をもとにした、他地区での導入・運用を支援する活動を行いました。

1) 「ポケットサロン小杉」

富山県射水市で地域のシニアと短大生等の学生が学び合い、共通のテーマ

で街中の活性化を考える活動の運営を支援しています。

毎月開催する例会は、新型コロナの感染状況に応じて対面とリモートを柔軟に使い分けて開催しています。

また、新たにオンラインミーティング「金曜カフェ」を発足させ、高齢者を含めてスマートフォンを使った日常的なコミュニケーションの実践の機会を提供しています。

③ インターネット安心安全利用の出前講座

総務省・文部科学省が推進する「e ネットキャラバン事業」の認定講師として会員が富山県内の学校等に出前講座を行なっています。

令和4年度は計8回の活動を行っています。

④ オフィシャル Web を通じた活動情報の発信

(3) 連携促進事業

eプラットフォームの利用を通して、会員相互の連携および会員による自主活動を促進しました。

3 事業の一覧

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	※支出額(千円)
研究開発事業 市民の地域人材化を促進するプラットフォーム研究	eプラットフォーム実践的研究	通年	インターネット	3名	会員および教育支援関係者(20名)	0
	オンラインフォーラム開催	通年	インターネット	3名	会員および教育支援関係者(20名)	0
普及啓発事業 インターネット市民塾の実践研究による成果の普及啓発	キャリアシフト支援活動サイト運用	通年	富山 インターネット	2名	会員および会員の活動地域における市民参加者(不特定多数)	20
	文化芸術活動活動サイト運用	通年	富山 インターネット	2名	会員および会員の活動地域における市民参加者(不特定多数)	20
	企業人材育成教育サイト運用	通年	富山 インターネット	1名	会員および会員の活動地域における市民参加者(不特定多数)	20
	高齢者のICT活用による社会参加促進および人材化支援	随時	富山県射水市	4名	依頼地域の関係機関・団体	5
	インターネット安心安全利用出前講座	随時	富山県内 および近隣県	4名	会員および派遣小学校・中学校・高等学校の生徒・職員	14
	オフィシャル Web を通じた情報発信	通年	インターネット	1名	インターネットを通じた不特定多数	18
連携促進事業 学習基盤相互の連携促	研究会 Web サーバの共用活用	通年	インターネット	1名	会員	0

※ 職員の労務費は計上せず

(2) その他事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
普及啓発事業 インターネット市民塾の実践研究による成果の普及啓発	茨木市立生涯学習センターオンライン学習サイト運用支援業務受託	通年	富山、大阪 インターネット	2名	依頼地域の関係機関・団体職員 およびインターネットを通じた市民利用者(不特定多数)	231,000